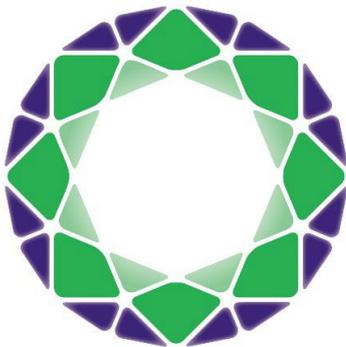


秋田大学ロゴマークのリニューアルについて

事務局記

2025年4月1日より秋田大学（学長：南谷佳弘）は、ロゴマークをリニューアルしました。デザインのコンセプトは「過去と未来のつながり」。情報データ科学部の設置及び学部の改組・改編により5学部体制へ移行することに伴い、学生一人ひとりの夢の実現に向けて積極的に支援し、世界で輝く人材を輩出し続けるという意味が込められています。



大学の前身である秋田大学鉾山専門学校の校章に使われていたダイヤモンドの正八面体をオマージュしたもので、ダイヤモンドのブリリアントカットをモチーフに作成されています。

ダイヤモンドは、磨き上げられることでその輝きを最大限に引き出します。

秋田大学も、教育と研究を通じて学生を育成し、地域社会や世界が直面する課題を解決するための知識とスキルを磨き上げています。ブリリアントカットの多面的な美しさは、多様な視点を持ち、グローバルに活躍するリーダーを育成するという教育理念を象徴しています。メインカラーはスクールカラーの緑色から、アクセントカラーは学章の大学の藍色から取り入れています。

(2025年3月28日秋田大学プレス発表資料引用)

秋田大学ロゴマークについて

事務局記

当該ホームページはトップページに秋田大学ロゴマークを掲載しています。掲載に当っては事前に秋田大学長の許可を得て、「秋田大学ロゴマーク取扱マニュアル」に沿って使用しています。この度秋田大学ホームページにアクセスし、同ロゴマークの意味等について改めて調べた内容を以下に記述します。

2019年に秋田大学は創立70周年を迎えました。これを記念して更に地域や世界に広く大学をアピールするため、2018年12月3日から2019年1月31日まで学内で新たなロゴマークを募集しました。ロゴマーク選考委員会が厳正に審査した応募総数63点の中から以下のロゴマークが選定されました。

このロゴマークには次の3つの意味が込められています。

- ① マーク上部が秋田大学4学部を4株の稲のイメージで表現しています。
- ② マーク下部のラインは秋田大学が未来のステージへ飛躍するイメージ、本を開いたイメージ、そして外に開かれたイメージを重ね合わせたもの、更にマーク上部が表現するイメージをしっかりと受け止める土台
- ③ 以上の2つの組み合わせにより、秋田大学が世界の課題を解決すると共に
地域発展に寄与する事と同時に秋田大学の上昇志向をイメージしている。



ロゴマークの作成者

秋田大学大学院国際資源学研究所3年次
Reza Firmansyah Hasibuan

秋田大学大学院国際資源学研究所1年次
Andriansyah Gurusinga

特許庁商標登録2019.11.1第6194613号
(年次は2018年度当時になります。)